

フランス・パリで花咲く 日本文化の祭典 Japan Expo

「Japan Expo」とは、フランス・パリで開催される、日本のアニメ、漫画をはじめとするサブカルチャーと、日本の伝統文化を紹介する大イベント。15年目の今年も、去る7月に開催されました。この「Japan Expo」に、レディブティックでもお馴染みの岡あつ子先生と、ブティック社ペイントフレンドで活躍中の遠藤綾子先生が出展。お二人に「Japan Expo」の様子をレポートしていただきます。

「和の心」を描いた作品

遠藤綾子

私は20年前から、フランス・ペベオ社の絵の具を使って、グラスペイント（ガラス絵付け）とファブリックペイント（布絵付け）の作品を描いています。日本人として、日本の四季折々の花や情景を「和の心」で描き伝えたいと思います。作品約30点をJapan Expo（WABII-SABIIエリア）に出品しました。（WABII-SABIIエリア）は書道、茶道、水墨画、日本人形など、注目の日本文化・美術・工芸の先生方が日本全国から集められました。

連日たくさんの方々がブースに立ち寄り、作品に一日惚れして購入してくれたりして、とても嬉しかったです。

グラスペイントの作品と古代織に描いたファブリックペイント作品



ブースはいつも大盛況



お抹茶碗を買った紳士と。日本の文化が大好きな紳士でした

絵付けしたガラスのお抹茶碗をお求めいただいた紳士は、パリにお茶室を構えているほどの日本好き。来日するときは私のアトリエに来たい、と日本語で話してくれました。

手描きの洋服や着物は、私と娘が連日着て会場にいたので、多くの方に注目されました。



作品を着た先生とお嬢さん

会場にはさまざまなステージがあり、日本の伝統と現在の日本文化が紹介され、雅な衣装の舞や阿波踊り、着物をアレンジしたドレスのファッションショー、書道パフォーマンスなど熱気と歓声があふれていました。

日本から離れたフランス・パリでのJapan Expoのエキサイティング。日本人として「日本の四季」「和の心」を大切にして、これからの製作活動に生かしたいと思いました。

日本、最高！ フランス、最高！

担当＝東宮千鶴/レイアウト＝三浦由加里